

高校生200人に建設業の魅力を発信

とちぎ建設業合同企業説明会 開催

2023年3月16日(木)
日環アリーナ栃木 メインアリーナ

地域建設業には県民の生命・財産を守る役割、いわゆる「地域の守り手」としての重要な責務が課せられています。しかしながら、近年その役割を将来担う若手の技術者の減少が顕著となってきており、次世代への技術や技能の継承が危ぶまれています。そこで、栃木県建設業協会では若手入職者確保のためのさまざまな建設業のPR活動を実施していますが、その一環として本年度から「とちぎ建設業合同企業説明会」を開催しています。

この合同企業説明会は、栃木県を代表する優良建設企業61社がブースを出展し、各企業が経営理念や事業概要、沿革、工事品質や環境対策への取り組み、福利厚生内容等を参加していただいた生徒たちにわかりやすく説明すること

により、「地域の守り手」としての大切な業務内容や、現在の建設業が新3K（給料が良い・休暇がとれる・希望がある）の業界へと変わっていることなど、建設業界の現状を正しく理解していただくためのものです。

参加いただいた高校は、宇都宮工業高校、那須清峰高校、真岡工業高校、今市工業高校、宇都宮白楊高校、鹿沼商工高校、小山北桜高校、足利大学附属高校の8校で、約200人の参加となりました。また、生徒の保護者や先生方にも参加いただき、栃木県の建設業界の現況をご理解いただきました。

今後は本年の実施内容・手ごたえ・反応を検証し、より内容の充実した説明会として継続していく予定です。

